

新千歳空港温泉

Shin Chitose Kuukou Onsen
(北海道千歳市)



外観

空路を使って旅をしていていつも感じることもある。空港の乗継待ち時間に、ホテルで休憩したり、温泉に入ったりすることができれば、どれほどリフレッシュできるだろうかと。しかも、夜行便の直後であればなおのことだ。

今回、釧路から東京への便が満席で確保できず、夕方に釧路から千歳へ行き、そこで 1 泊し、早朝に千歳から東京へ飛ぶこととなってしまった。そこで宿泊したのが空港ターミナルビル内にある「エアターミナルホテル」である。

このホテル、通常のビジネスホテルの機能の他に、温泉機能も備わっている。正確に言えば、空港内にある新千歳空港温泉をタダで利用できるのである。

フロントではホテルから新千歳空港温泉までは徒歩約 5 分との案内を受けたが、初めて行く人にとっては 10 分くらいかかってしまうことは覚悟しなければならない。しかし、途中にはショップがたくさんあるので、飽きることはない。

新千歳空港温泉は、ターミナルビルの 4 階にある。新千歳空港温泉は温泉だけの施設にとどまらない。食事やエステ、あかすり、岩盤浴はもちろん、仮眠や休憩も可能で、読書をする場所、ネットコーナー、ゲームコーナー、土産物屋も完備している。新千歳空港温泉だけで一つのスーパー銭湯であると言えよう。

いや正確に言うと銭湯ではない。その名の通り温泉である。北海道ではどうなのかは知らないが、ここの温泉は珍しく真っ黒い泉質だ。見栄えは東京の銭湯でよく見るあの「黒湯」なのである。しかし、ナトリウム-塩化物泉とのことなので、フミン酸という有機物が含まれる黒湯とは違うのかもしれない。

新千歳空港温泉の浴室について紹介しよう。湯船は内湯が水風呂（20℃）、黒湯の大風呂（40℃）、マッサージ風呂（40℃）、小屋組のある露天風呂が2つ（いずれも黒湯、40℃）であり、他にドライサウナ（95℃、定員18人、テレビあり）、ウェットサウナ（定員5人）がある。洗い場は23か所あり、石貼になっていてゴージャスである。シャンプーボディーソープ、コンディショナーは完備している。

問題は浴室内の温度だ。脱衣室から浴室に入ると気温がぐっと下がる気がする。これではお年寄りには優しくはないのではないか。ぜひ再考してほしい。

これほど充実した施設なのだが、国内線のターミナルにあるせいか、外国人の利用はほとんどなかった。まだまだ日本文化の発信が足りないのではと思われる。今後の発展を期待したい。

ちなみに新千歳空港温泉はナトリウム-塩化物泉（低張性・弱アルカリ性温泉（食塩泉））で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、痔疾、慢性消化器病、慢性皮膚病、病後回復期、疲労回復、健康増進、虚弱児童、慢性婦人病、冷え性、きりきず、やけどに効くという。

新千歳空港温泉は、十分すぎるほど旅の疲れを癒してくれた。

- **名称**：新千歳空港温泉
- **所在地**：北海道千歳市美々新千歳空港国内線旅客ターミナルビル4階
- **電話**：0123-46-4126
- **営業時間**：10：00～翌朝9：00
- **定休日**：無休
- **入浴料**：大人（中学生以上）1,500円、子供（小学生）800円、3歳～未就学児600円
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：あり
- **取材日**：2014年11月21日（金）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部